



特定非営利活動法人日本冒険遊び場づくり協会  
2017 年度 活動団体応援プログラム 活動報告書

〔あそびック〕（栃木県足利市）

【団体紹介 HP】 <http://bouken-asobiba.org/play/asobiba-188.html>

## 1年間の活動の概要

月に1回、あそびの森という街中の森で冒険遊び場事業を実施しました。春は穴掘りからの川づくり、夏は流しそうめん、秋は落ち葉遊びなど、季節ごとに様々な遊びが創られました。地形を生かしたダンボール滑り台と大型ブランコは大人気です。9月には4周年目突入を記念した茶話会を行い、来場者たちと交流を図ることを実践、ASOBIG 会員（賛助会員）の募集も始めました。近隣住民からの協力、毎月のように遊びに来る中高生、昨年度根付いた『居場所』という根が少しずつ深く、大きくなってきています。そして、その様子は市外、県外にも伝わり、遠方から遊びに来るご家族もいらっしやいます。また、あそびックに賛同して下さるプレーリーダーの方々も不定期に来られます。

## 次の1年間でチャレンジしたいこと！

- ・地域の住民・自治会との交流を深めたい
- ・スタッフ間の研修のシェア会を実施したい
- ・ASOBIG 会員 20 名に増員



▲遊び場の様子（2017年5月28日）

## 【運営メンバーから一言！】

「石の上にも3年」と言いますが、いろいろなことを乗り越えながら無事に3年を過ごすことが出来ました。最初のころに比べるとスタッフ自身、ずいぶんと場作りのコツがわかるようになり、地域の人と一緒に遊び場を作る場面が増えてきました。また、続けて遊びに来る親子や中高生の姿から、スタッフも気づかなかった、地域の中でのあそびックの存在価値を見出すこともできました。

これからも団体のミッションである「遊びのタネが芽生える土壌（きっかけ）づくり」を進めていくために、まだまだチャレンジすることを忘れず、自分たちの歩幅で前に進んでいきたいと思えます。（代表 遠藤 優子）

## 【協会から応援メッセージ！】

あそびックのみなさんが協会事務局に訪れた時、同席させていただきました。若い世代の社会人のみなさんが、地域のこと、子どもたちのことを考え、生き生きとチャレンジしている姿こそ、きっと地域の宝物だと思います。 地域運営委員（埼玉）佐藤美和

活動団体応援プログラムは、各地の冒険遊び場づくりを全国の仲間たち（協会）が応援するプログラムです。

参加をご希望の方は、日本冒険遊び場づくり協会までお問い合わせ下さい。【協会 HP】 <http://bouken-asobiba.org>